

## 情報メディア学科 カリキュラム・ポリシー

情報メディア学科ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。

1. 数理科学科目群では、専門科目を学ぶ上で必要となる数学の基礎を固める。
2. 専門基礎科目群では、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアならびにネットワークの原理・仕組みを広く学ぶ。同時に、メディアシステムなどの情報システムを構築するために必要となる、データ構造やアルゴリズム、データベース、情報セキュリティ、ソフトウェア開発技法などの基礎的知識・技術を習得する。
3. 基幹科目群では、メディアデータの特性を理解し、コンピュータグラフィックス、画像情報処理、音響処理、映像情報技術といったメディア情報処理の基本技術とヒューマンインタフェースや感性情報処理、情報システムと心理学などの人間中心の設計理論・実現技法を身につける。同時に、情報技術が社会に与える影響を理解したうえで、情報技術者としての倫理的・社会的責任について幅広く学ぶ。
4. 応用科目群では、より実践的なメディア情報技術を習得するため、音声情報処理、知能メディア処理、コンピュータビジョン、感覚知覚心理学、Web デザインなどの技術を学ぶ。
5. 演習科目群では、プログラミングの演習や、種々のメディア技術を応用したシステム開発演習を通して、学んできた知識・技術を実体験により習得する
6. 卒業研究では、与えられた課題に対し目標、制約条件を整理した上で、情報技術を駆使して課題解決の方法を提案し、それを具現化する計画の立案ならびに継続的活動により計画内容を達成する方法を学ぶ。また、その結果の文書化やプレゼンテーションをする能力を総合的に習得する。